

学習課題

石炭 によって、日本の社会はどのように変わったのだろうか

2年 組 番 名 前

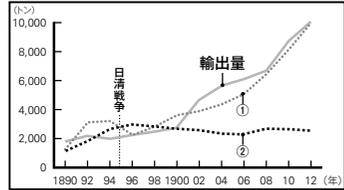


◆写真から読み取れること

- ・煙突が多い。
- ・煙がたくさん出ているため公害が起りそう。
- ・鉄を作る工場ができた。



◎資料A 製糸業 ～手工生産と機械生産～

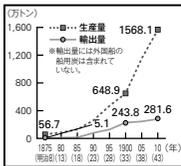


① 機械生産 ② 手工生産

◆資料Aを見て気付いたことを書こう。

- ・石炭の生産量が急増している。
- ・輸出量を大きく上回っている。
- ・製糸業の発展と、石炭生産量。

◎資料B



◆資料B(石炭)の生産量の推移)を見て気付いたことをまとめよう。

- ・石炭の生産量が急増している。
- ・製糸業が発展した。
- ・生産量が輸出量を大きく上回っている。

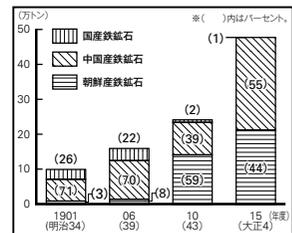
◎資料C 日本の国内外情勢

年代	できごと
1894	日清戦争
1895	下関条約、三国干涉
1901	八幡製鉄所 操業開始
1902	日英同盟
1904	日露戦争
1905	ポーツマス条約

◎資料D 筑豊炭田と八幡製鉄所の場所



◎資料E 産出地別鉄鉱石量(原料)



◆八幡製鉄所は、なぜ北九州に建設されたのか。

資料C～Eをもとに考えてみよう。

- ・炭鉱が近い。
- ・鉄鉱石の輸入に適している。
- ・作った鉄(鉄鋼)の輸送に適している。

1880年代後半の日本は、石炭によって、産業革命が進展した時代だった。

まとめ

- ・石炭の利用によって、江戸時代に比べ日本の工業化が急速に進んだ。
- ・石炭は、あらゆる分野で活用され日本の近代化を支えた。